

東京教区 信仰と生活委員会主催 信徒講座

# 「教会改革の足跡」 ～キリスト教変貌の軌跡～

**講師：竹内謙太郎司祭**

日 時：毎月第3金曜日 午後7～9時

場 所：教区会館3F 参加費：各回500円

教会は、人びとに仕えるために存在することは主イエス・キリストのみ言葉とご命令によって、その本質が基礎づけられています。人びとに、というとき、それは世界の人びとが社会的に、歴史的に、文化的に、そしてたぶん、人種的に変化すると共に、多くの相違点を抱えている多種多様な存在を意味していると考えべきでしょう。

それゆえに、教会は一定の原則、「神のみ言葉」に立ちながら、変化や相違点に深い関心と理解を保ってきています。それが教会の姿に多くの変貌を与え、結果として教会の改革につながることは否定できません。

とくに歴史のなかにあって、社会的、経済的、政治的な状況に対応せざるを得ないことは当然というべきでしょう。教会は、「変化する」という点において、その本質は「変化しない」といえるでしょう。もし、そういうような意味での教会の本質にあらためて迫ることができればと思っています。その道をたどることは、私たちの自立性と自律性を再確認することにつながると思っています。

司祭 竹内謙太郎

参加申し込み・お問い合わせは…

**東京教区事務所 宣教主事** まで

TEL **03-3433-0987**

FAX **03-3433-8678**

◎講座の日時等、変更が生じた時には事前にご案内いたしますので、講座申し込みの方はFAXまたはE-mailアドレスをお知らせ下さい。

**第1回 第一世紀 ユダヤ教からキリスト教の誕生へ (10/20)**

旧約聖書の「成就」としてのイエスの存在。  
イスラエルの改革とキリスト教の誕生。

**第2回 迫害を経つつキリスト教会の成立へ (11/17)**

社会とキリスト教の接点とは。迫害？

**第3回 第四世紀、教会の変貌Ⅰ (12/15)**

コンスタンチヌスとキリスト教。ローマ帝国とクリスチャン。

**第4回 第四世紀、教会の変貌Ⅱ**

キリスト教会の成立。社会と教会。キリスト教の国教化。教会の制度化。

**第5回 第十一世紀から第十二世紀へ**

国家と教会の対話と対立。政治的・社会的制度としての教会。

**第6回 ローマ教皇権の確立**

教会と国家の確執と闘争。それぞれの人びとへの役割りと責任の混同。

**第7回 第十六世紀、宗教改革へⅠ**

社会的・政治的制度としての教会の崩壊。

**第8回 第十六世紀、宗教改革へⅡ**

「権威」の崩壊、分離・分裂に向かう趨勢。

**第9回 教会の世俗化、ヒューマニズムの台頭**

個の確立と権威の存在。

**第10回 革命、無神論、科学 そして現代**

自己への信仰。



★どなたでも参加できます。また、1回の参加も可能です。